

## 清水港マスコットの愛称を募集しています！

清水港の紹介パンフレット「清水港ってどんなところ？」に登場するマスコットが、子どもたちを始め多くの方々に人気を博しており、清水港マスコットとして定着しつつあります。

そこで、清水港を市民の方にもっと知って親しんでもらうため、マスコットの愛称を募集し、今後、港のイベントや広報紙、ホームページなどで活躍してもらうことにしました。

ぼくの名前を  
考えてね！



■募集期間：1月31日（木）まで（必着）

■応募方法

・はがき（〒424-0922 静岡市清水区日の出町 9-25 清水港管理局「清水港マスコット愛称募集係」あて）

・E-Mail (port@mail.wbs.ne.jp)

・応募箱への投函（設置場所：エスパルスドリームプラザ1階、マリントーナメント1階、マリビル1階、静岡市清水庁舎1階）

■記載事項

①住所、氏名、年齢、電話番号、②マスコットの愛称と読み方、③それを考えた理由

■発表：2月中旬を予定（優秀作品には記念品を差し上げます。）

■その他：詳しくは清水港管理局のホームページ

(<http://www.portofshimizu.com>) をご覧ください。

## 新興津第2バース新規着工へ

新興津地区国際海上コンテナターミナル第2バース整備事業が、2008年度政府予算の財務省原案で内示されました（総事業費161億円）。

清水港には現在、欧州・北米の基幹航路をはじめ週23航路の国際定期便があり、コンテナ取扱量は堅調に推移しています。このような外航コンテナ輸送需要の高まりやコンテナ船の大型化への対応を図るため、現在ある第1バースを350m延伸します。第2バースの完成により、世界最大級のコンテナ船（全長400m級）が停泊できるようになります。今後、水深15mの耐震強化岸壁、防波堤や泊地を整備すると同時に、背後の荷捌地やクレーンなどの荷役機械、臨港道路など各施設の拡充を進めていきます。



第2バース完成時の新興津埠頭（一部CG）



# ☆客船「飛鳥Ⅱ」一般募集の船内見学を実施しました☆

1月7日（月）、清水港に寄港した客船「飛鳥Ⅱ」で、一般募集による船内見学を行いました。

募集の段階から、100名の募集枠に1,200名を超える応募があり、市民の皆様の「客船へ乗ってみたい!」「いつかクルーズをしたい!」という熱い想いを感じました。

当日はあいにくの雨でしたが、待ちに待った当選者たちの列は、受付開始前から長くなるばかり…。

約1時間の船内見学ツアーは、…、まず、11階にあるメインラウンジ「パームコート」から、船首に位置し眺望の素晴らしい「ピスタラウンジ」をまわり、プール、レストラン、フィットネスセンター、グランドスパなどを見学。その後、アミューズメント施設がそろそろ6階へ降り、ショーなどが開催される「ギャラクシーラウンジ」、日本版カジノ「モンテカルロ」（お金はかけられません）、映画館「ハリウッドシアター」、バンドの演奏やダンスが楽しめる「クラブ2100」などを巡りました。

アンケートでは、9割以上の方が「大変良かった」「良かった」と評価し、「今後はぜひ乗船したい」という感想が多く寄せられました。

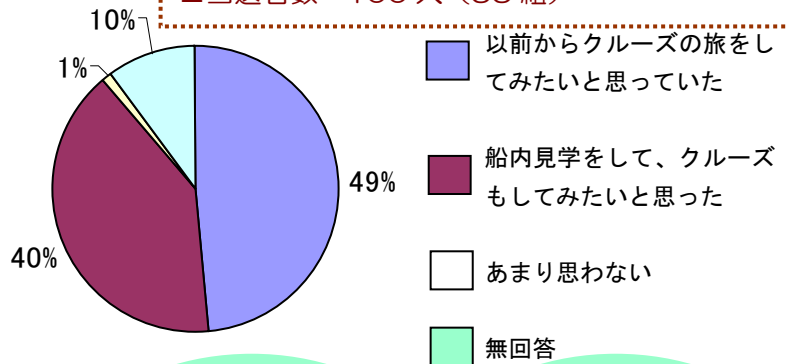
清水港では、今後もこのような市民見学会などをおして、より多くの皆様に「クルーズの世界」の扉を開けて欲しいと思っています。

## ■参加者アンケート■

今後、客船でクルーズの旅をしてみたいですか？

### <船内見学実施の概要>

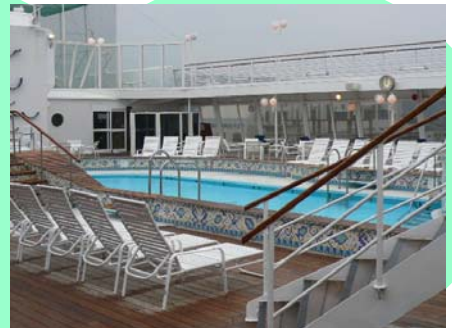
- 日時:平成20年1月7日(月)13:30~14:30
- 応募者数:1,264人(679組)
- 当選者数:100人(55組)



モニュメントや季節の飾りがお出迎え



開放的なパームコート



こんなプールでゆったり気分を…

## 清水港客船誘致委員会



平成2年2月、清水港に初めて大型外国客船「クイーンエリザベス2世号」が入港したことをきっかけに、それまでは貨物船ばかりが入港し、市民にとって遠い存在であった清水港を、市民が憩い親しめる港にしようとする機運が高まり、静岡県や旧清水市、商工会議所、港湾関係団体等が集まって、客船や帆船を誘致して清水港に賑わいを創出することを目的とする同委員会を設立しました。

客船や帆船など市民に人気のある船舶を清水港に誘致し、入港した際にはさまざまな歓迎事業や市民向け事業を開催し、清水港に賑わいを創出します。

皆様からのご意見やお問い合わせはこちらまで

424-0922 静岡県静岡市清水区日の出町 9-25 静岡県清水港管理局 企画振興課  
TEL054-353-2203 FAX 054-354-0380 e-mail port@mail.wbs.ne.jp



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県建設部

